

令和6年(2024年)11月14日 (木曜日)

被災者に「ゆめみしま」

GW三島子どもにも新米手渡し



ゆめみしまを袋詰めするGW三島のスタッフ＝三島市内

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)は、同市中郷地区の田んぼで市民とともに田植えし、収穫した三島産新銘柄米「ゆめみしま」の新米を能登半島地震の被災者に贈る。16日にスタッフらが現地を訪れ、直接被災者に手渡す。GW三島は能登半島地震で被災した子どもたちを伊豆地区に無料で招待するショートツアーを3回実施し、34組118人が参加し

た。今回、ツアーの参加者を対象にゆめみしまを届ける。現地では被災者と会って交流し、9月には豪雨災害にも見舞われた被災地に対し、GW三島ができる今後の支援を検討していくという。

現地へ赴く渡辺豊博専務は「実際に顔を合わせて話をすることで、三島から少しでも元気を届けたい」と話した。

ゆめみしまは源兵衛川の清流で育てた。今年には猛暑の影響で昨年より収穫量が若干減り約1トだった。